

令和 2 年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」  
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第 2 6 条の規定に基づき議会に提出

飯 豊 町 教 育 委 員 会

## 目 次

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

# 1 教育委員会の活動状況

## 飯豊町教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、令和2年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。  
なお、令和2年度の開催状況は以下のとおりである。

令和2年第5回教育委員会(R2.4.28)

議事

- (1) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町公民館分館設置規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町立小・中学校共同学校事務の連携及び共同実施に関する要綱の設定について
- (4) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (5) 飯豊町社会教育委員の任命について
- (6) 飯豊町地区公民館長の任命について
- (7) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (8) 飯豊町公民館分館長の委嘱について

令和2年第6回教育委員会(R2.6.23)

議事

- (1) 飯豊町要保護児童対策地域協議会要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (2) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (3) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (4) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について
- (5) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (6) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について

令和2年第7回教育委員会(R2.8.25)

議事

- (1) 令和3年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について
- (2) 令和元年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

令和2年第8回教育委員会(R2.10.2)

議事

- (1) 飯豊町いじめ防止対策の推進に関する条例の設定について

令和3年第1回教育委員会(R3.2.25)

議事

- (1) 令和3年度飯豊町学校教育指針について
- (2) 令和3年度飯豊町社会教育指針について

令和3年第2回教育委員会(R3.3.10)

議事

- (1) 飯豊町立学校における学校運営協議会の設置に関する規則の設定について
- (2) 飯豊町地域学校協働活動推進員設置要綱の設定について
- (3) 令和3年度教職員人事異動の内申について

令和3年第3回教育委員会(R3.3.24)

議事

- (1) 飯豊町ファミリー・サポート・センター活動促進助成金交付要綱の設定について
- (2) 飯豊町児童生徒就学援助要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (3) 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (4) 令和3年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について
- (5) 飯豊町立保育園嘱託医の委嘱について
- (6) 飯豊町地区公民館長の任命について
- (7) 令和3年度飯豊町職員人事異動の内申について

## 2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

令和2年第3回教育委員会協議会(R2.4.9)

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和2年第4回教育委員会協議会(R2.8.25)

- (1) GIGAスクールについて
- (2) 学習指導員、スクールサポートスタッフについて
- (3) 教員の働き方改革について
- (4) 「新しい生活様式」を踏まえた学校における感染症対策について
- (5) つばき保育園の認定こども園化について

令和2年第5回教育委員会協議会(R2.10.2)

- (1) 中津川橋通行止めに係る対応について
- (2) 令和2年度西置賜地区中学校新人大会の結果について
- (3) 令和2年度第36回町小学校陸上競技大会について
- (4) 町小学生の走力について
- (5) 「学習指導員」・「スクールサポートスタッフ」の配置状況について
- (6) GIGAスクール構想の進捗状況について
- (7) 社会教育課事業の状況について

令和3年第1回教育委員会協議会(R3.2.25)

- (1) 飯豊町教育大綱について

令和3年第2回教育委員会協議会(R3.3.10)

- (1) 飯豊町教育大綱について

### 3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、学校及び幼児施設等の訪問を行った。例年、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### [教育懇談会]

- (1) 令和2年度飯豊町教育懇談会 (R2. 12. 4)

#### [教育委員研修]

- (1) 山形県市町村教育委員大会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

#### [学校等訪問]

- 各幼児施設及び小中学校、調理場訪問 (R2. 11. 9、R2. 11. 19)

## 2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

◇目標 安心・安全で楽しく学べる学習環境の整備を図るとともに、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図ります。また、子ども達の望ましい教育環境を確保するため、今後の学校の在り方について検討を進めます。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 教育環境の充実</p>	<p>①問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため学校支援員や児童生徒相談員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>②いじめ問題は、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを認識し、いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、平成 26 年度に「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定し、平成 31 年 3 月に一部改正を行った。また、いじめの未然防止に向けては、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行った。</p> <p>また、「Q-U テスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談</p>	<p>①学校支援員等の配置（達成） ◇児童生徒自立支援員 1 名、学校支援員 7 名を配置し、学習活動の支援や相談活動等に当たった。</p> <p>②小学校は、1 学期に 44 件、2 学期に 61 件、3 学期に 3 件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、全て解消できた。 中学校は、1 学期に 8 件、2 学期に 10 件、3 学期に 1 件のいじめ問題が報告された。同様に学校いじめ防止方針に基づいて対応し、3 学期に全て解消となった。（達成）</p>		<p>①引き続き各校への学校支援員の配置に努めるとともに、有資格者の確保と支援員研修を実施していく。</p> <p>②いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>を実施した。</p> <p>③体罰の防止に向けては、体罰に関する正しい認識を徹底するための研修を学校等で行うとともに、学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努めた。また、既存の相談窓口を活用し児童生徒や保護者の悩みを相談することができる体制づくりを行った。</p> <p>④国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成を図ってきた。</p>	<p>③学校における体罰件数は0件であった。（達成）</p> <p>④外国語指導助手の配置（達成） ◇小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を継続して2名配置した。又、昨年に引き続き英語・ICTコーディネーターを継続して配置したほか、今年度から学校教育指導専門員を新たに配置し、教員のスキルアップのための指導や研修を行った。</p>		<p>③教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。また体罰に関する相談窓口を開設し広報等で周知を図る。</p> <p>④引き続き外国語指導助手の配置及び英語・ICTコーディネーター、学校教育指導専門員の配置も継続する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑤学校と家庭と地域の連携を深めるために、学校を中心として日常的な意見交換及び交流の場をつくってきた。</p> <p>⑥食育（食を通じた子どもの健全育成）活動を推進し、児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができるよう、関係機関や各種団体等が連携し取り組みを進めてきた。</p>	<p>⑤学校・家庭・地域連携（達成） ◇学校運動会と地域スポレク大会の合同開催や、日常的な交通安全や防犯等の活動を通じて地域連携が行われている。</p> <p>⑥食育の推進（ほぼ達成） ◇栄養教諭による出前講話や「栄養ひとロメモ」の発行による栄養知識や食文化の普及に努めた。 ◇生産者との連携を強化しながら地場産農林畜産物の積極的な給食利用を行い、生産者と児童生徒の交流を通じ食育推進を図ってきた。 ◇県外産学校給食食材の事前の放射性物質検査や、1週間分の学校給食の事後の放射性物質検査を実施するとともに、衛生管理の徹底を行い、更なる学校給食の安全や安心の確保に努めた。 ◇小学校の家庭科の授業で子ども達に給食の献立を考えてもらい、給食で提供した。</p>	<p>朝食をとる小学校児童の割合 【R3目標】 100.0% 【R2実績】 100.0% 【H22実績】 93.8%</p> <p>朝食をとる中学校生徒の割合 【R3目標】 100.0% 【R2実績】 91.9% 【H22実績】 88.7%</p>	<p>⑤引き続き、学校と家庭と地域が連携し、教育環境の充実を目指すとともに、地域で子どもたちを育てる意識を高めていく。</p> <p>⑥健康福祉課や農林振興課と連携を図りながら、引き続き学校給食への町内農林畜産物の利用促進や保健活動と連携した食生活指導、健康づくり推進を行い、健全な食生活及び食習慣を養うための取り組みを展開していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑦身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進してきた。</p> <p>⑧一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p>	<p>⑦体験教室と郷土教育（達成） ◇学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p> <p>⑧個性を活かし確かな学力を育む（ほぼ達成） ◇子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等あらゆる場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。 ◇学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続して開講し、令和2年度</p>		<p>⑦引き続き、学校と地域が連携し体験学習や郷土学習を展開する中で、環境教育や感性教育、地域教育を推進し、社会や人々と豊かに関わり合える子どもを育成する。</p> <p>⑧引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。 中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」については、令和3年度においても引き続き実施し、各学年20回の開催を予定している。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2) 教育施設の整備</p>	<p>⑨「飯豊町学校・幼児教育環境将来構想」に沿って、小学校の統廃合を進めるため平成28年度に策定した「小学校適正配置基本計画」に基づき、3校区の学区再編検討委員会から提出された答申を受け結果報告会の開催を予定した。</p> <p>①児童生徒の安全を確保するための危機管理体制の確立と地域の連携の構築を目指した。</p>	<p>は、新型コロナウイルスの感染対策をしながら年間20回の開催をほぼ達成することができた。 (3年：20回、1・2年：19回)</p> <p>⑨小学校の再編統合（未達成） 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染状況により、検討委員を参集しての会議の開催ができなかった。</p> <p>①危機管理体制の確立（ほぼ達成） ◇学校施設のセキュリティー強化のために、施設警備保障業務を強化し、防犯カメラ・防犯ライト・玄関への電気錠の設置を行っている。 ◇防犯協会やPTAの活動を中心として防犯パトロール活動の強化を行った。 ◇飯豊町行政情報配信システムやM@mail（マ・メール）を活用し、小中学校全校で携帯電話</p>		<p>⑨子どもの立場にたった望ましい教育環境実現を最優先に捉えた上で、学校統合について再検討を行う。</p> <p>①関係機関と連携し、引き続き、児童生徒の通学路の安全確保に努めるとともに、学校施設の防犯体制の確立及び危機管理体制の強化を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②地域情報通信基盤整備推進事業により、全校で光通信による高速インターネット接続が可能となっている。また、パソコンや電子黒板等のICT環境を整備し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。</p> <p>③スクールバスの運行を委託方式により実施する中で、遠距離児童生徒の通学手段の確保を図るとともに、学校行事、学習活動や部活動等に活用している。</p>	<p>機への緊急メール配信の運用を行っている。</p> <p>◇通学路道路交通安全プログラムに基づき、令和2年度は手ノ子小学校の通学路の合同点検を実施した。(令和元年度は第一小学校、第二小学校及び添川小学校で実施)</p> <p>②情報機器教育の充実(達成)</p> <p>◇文部科学省のGIGA構想スクール構想により、児童・生徒1人1台タブレット端末を整備し、併せて学校で全てのタブレット端末が高速大容量の通信ができるように構内通信ネットワークの環境整備を行った。また、電子黒板を各校に3台ずつ整備したほか、パソコン周辺機器等の整備を行った。</p> <p>③スクールバスの運行業務の充実(達成)</p> <p>◇令和2年度は、ひまわり号の更新を行った。又、スクールバスの運行にあたり、学校及び関係機関と調整を図りながら、適正な運行を行った。</p>		<p>②ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。</p> <p>③引き続き、スクールバスの適切な運行及び管理に努める。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>④教育施設の更なる充実に向けて、学校の要望を踏まえて、施設整備や備品購入等の事業を計画的に進めてきた。</p>	<p>④学校施設整備（達成）  ◇令和2年度は、第一小学校家庭科準備室ガラス修理工事、第二小学校照明器具上部囲い工事、手ノ子小学校体育館渡り廊下防水塗装工事、添川小学校油ポンプ取替修繕工事をはじめ、各種修繕工事を実施するとともに、飯豊中学校大規模改修工事に継続して取り組み、校舎の屋根及び外壁改修のほか、照明のLED化、教室へのエアコン設置などを行ったほか、サッカーグラウンド照明更新工事を行いました。</p> <p>また、コロナ対策のため全ての学校に大型加湿器やサーマルカメラを購入したほか第二小学校牛乳保冷庫購入、手ノ子小学校図書管理システム購入、添川小学校児童会室ブラインド購入など学校備品の充実を図りました。</p>		<p>④引き続き、計画的に施設整備や備品整備を進める。</p>

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 地域の特色を活かし、創意工夫による生涯学習活動を展開し、明るく活力に満ちた地域づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 学習環境の整備</p>	<p>①社会教育施設を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。</p>	<p>①生涯学習環境の整備・充実(達成)</p> <p>1) 施設利用環境の各種整備          東部・西部公民館エアコン設置、中津川公民館FF暖房機更新、東部地区公民館障がい者トイレ便座交換、いいで天文台観測設備制御ソフト更新・パソコン購入等を実施</p> <p>2) 分館施設の管理支援          小原分館(白樺)、高峰分館(西部)、中分館(中部)等の部分修繕について、分館施設整備事業補助金を交付し、地域が担う分館の施設管理を支援した。</p> <p>老朽化が進む分館の施設管理について、世帯数の規模に応じて補助率の拡充を行い住民負担の平準化を図った。</p>		<p>地区公民館など社会教育施設の適切な機能維持を図り、「集う・学ぶ・つなぐ」を理念とした気軽に利用し易い施設環境の整備を図る。</p> <p>老朽化が進む分館の施設管理について、補助率を拡充したことについて住民に周知し、今後も適切な維持管理に努めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域が連携・協働する仕組みづくりに取り組み、子どもたちの成長を支えるとともに、子どもたちが地域に出向く機会を増やすなど、地域と連携した学習環境の整備・充実に努めた。</p>	<p>②学校・家庭・地域連携協働推進事業において、飯豊中学校、第一小学校、手ノ子小学校に地域学校協働活動推進員を各1名配置し学校と地域のパイプ役として、地域ボランティア活動や職場体験学習、地域学習、校外学習などの連絡・調整を行い、地域住民の参画を得て仕組みづくりを行った。</p> <p>また、コミュニティスクール導入に向けた研修会を実施した。</p>		<p>令和3年度より全学校コミュニティスクール化とし学校運営協議会を導入し、将来的に全学校に地域学校協働活動推進員を配置し、地域と連携した学習環境の整備・充実に努め、子どもたちの成長を支え、郷土愛の醸成を図りたい。</p>
<p>(2) 学習機会の充実</p>	<p>①地域の要望や要請に応じた魅力ある学習機会の提供と、町民に対する学習情報の発信に努めた。</p>	<p>①魅力ある学習機会の提供と学習情報の発信（達成）</p> <p>1) 各地区公民館事業</p> <p>地域資源を活かした多世代が交流できる事業を企画。ホームページ・チラシ等による周知及び開催状況の情報発信に努めた。コロナ禍により、中止とせざるを得ない事業があった一方、分散開催など、工夫を凝らし実施へとつなげた事業もあった。</p> <p>・伝統的な食文化である蕎麦の蕎麦打ち技術の体験学習を行</p>	<p>地区公民館（5館）利用者数</p> <p>【R3 目標】</p> <p>6,000人</p> <p>【R2 実績】</p> <p>2,791人</p>	<p>各地区公民館を中心として、生涯学習に対する住民ニーズの把握に努めるとともに、飯豊少年自然の家・源流の森や名所など町内資源の活用及び情報発信を推進する。</p> <p>また、学校活動や子ども会育成会とも連携し、天文台施設を活用した生涯学習を推進する。</p> <p>青少年の健全育成の推進にあっては、町青少年育成町民会議会員と連携</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>い、地域における蕎麦の歴史や栄養面の学習も併せて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川柳の投句は、学校と連携して行い、白樺地区では作品によるカルタづくりを行った。</li> <li>・展示をメインとするなどし、地区文化祭が開催された他、規模の縮小を余儀なくされる中であっても、工夫を凝らして地区のお祭りが実施された地区もあった。</li> </ul> <p>2) いいで天文台事業</p> <p>業務委託により、天文台設備による星空案内、地域に向いた天文教室、「あ～す」での天体写真展、白樺地区公民館及び東部地区公民館にて天文台紹介展示を行い、天文教育の普及に努めた。</p> <p>3) 青少年の健全育成の推進</p> <p>町青少年育成推進員と連携し、研修会の開催、有害図書類調査、いじめ・非行防止標語募集・審査を行い、青少年をとりまく環境の向上に努めた。いじめ防止標語飯豊町優秀作品についてポスター掲示を行った。</p>		<p>し、地域を挙げて青少年の心豊かな成長を守る取り組みを推進する。</p> <p>コロナ禍にあり、主催事業は感染予防策を講じ、オンラインの活用など、運営上の工夫を施しながら実施する。</p> <p>町第5次総合計画に基づき、いいでの子大したもんだプロジェクトはじめ、生涯学習施策を推進します。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	②子ども会育成会などの地域活動やボランティア団体の活動を支援した。	各地区子ども会育成会連絡協議会を通じ、各単位子ども会育成会に対して子ども会活動活性化推進補助金を交付し、活動費の支援を図ったが、コロナによって各団体とも活動が制限されることとなり、事業がまったくできない育成会が数地区あった。		今後も、各地区子ども会育成会に対し、補助事業を活用した活動の活性化について継続的に支援する予定であるものの、コロナ禍で活動が制限されることが予想される。できる限り地域資源を活用し、学校・地区公民館とも連携できる支援・育成の在り方について検討する。
(3)文化財保護と利活用	①地域に存在する文化財の保護と利活用を促進した。	① 文化財の保護（達成） ・萩生城址、萩生石箱遺跡公園の維持管理。 ・開発事業に対する遺跡試掘 2件、照会 3件。 ・カモシカ処理(3体)		飯豊町歴史文化基本構想のスケジュールに沿って、飯豊遺産の保護と利活用を促進していく。また、点在する文化財収蔵施設を集約する。
	②地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。	② 歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくり（達成） 1)飯豊町歴史文化基本構想令和2年事業計画の推進。 ・飯豊遺産リストとカルテ作成。 ・町内木製仏像の悉皆調査(大福寺、源居寺、萩生虚空蔵堂)。 ・渡邊六郎兵衛家長屋門内の整理調査(山形大学、芸工大、飯豊史話会と協働) ・常福院との協働による常福院		飯豊町歴史文化基本構想で策定した具体的計画に沿って、文化財の調査、研究、修復、整備を推進する。またその情報をもとに、飯豊遺産を新たな指定・登録文化財へ位置付けていくとともに、情報発信素材の作成、学習素材の作成を進め、発信することで、文化財を後

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>不動明王三蔵像の修復事業開始(三菱財団補助事業)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇津峠整備を目的とした道標デザインと配置場所の検討。</li> <li>・椿焼周辺の遊歩道整備へ協力。</li> <li>・天養寺観音堂整備事業として、絵馬の保存処理、荘内銀行補助金による展示ケース設置。</li> <li>・樋口茂七家文書、伊藤嘉六家文書、天養寺文書の記録化。拓本記録の整理収蔵。</li> <li>・中津川十四郷荘民俗資料館の資料確認。</li> </ul> <p>2) 基本構想外の緊急実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡邊六郎兵衛家墓所改修に伴う記録調査。</li> <li>・シジミチョウ類の標本作成</li> <li>・石碑の丘の踏査。</li> <li>・小白川白山跡踏査。</li> <li>・小白川天狗山登山道踏査。</li> <li>・椿高寺山踏査。</li> <li>・倒木によって荒れた松山家行屋の萱屋根の簡易補修。</li> <li>・町収蔵化石資料の同定調査。</li> <li>・町が所有する展示ケースの確認調査。</li> <li>・村山獅子踊りの菅笠の製作注文を中津川へ仲介。</li> </ul> <p>3) 飯豊町の歴史文化の普及啓</p>		<p>世に伝える意識を地域内に醸成し、人材の育成も図る。これらの要素をもって飯豊町の文化財保護行政を推進する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		蒙活動。 ・あ～すに飯豊遺産展示を設置。 ・飯豊史話会と協働し、飯豊学講座「天養寺観音堂絵馬展」をあ～すにおいて開催。 ・飯豊史話の発刊補助。天養寺観音堂絵馬、落書、奉納札、石碑の調査報告を寄稿。 ・広報いいでへ寄稿。 ・講話、小学校、中学生の学習事業へ協力)		

(重点項目) 生涯スポーツ活動の推進

◇目標 生涯をとおしてスポーツに親しみ、スポーツをとおして人々との交流や健康づくりができる環境づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) スポーツ環境の整備	① 町民スポーツセンター、手ノ子スキー場、自然観察学習園グランドゴルフ場などのスポーツ施設の管理・運営にあたり、施設利用の促進を図った。	① 社会体育施設の整備充実と利用の推進(達成) 1) 施設利用環境の各種整備 町民スポーツセンター及び手ノ子スキー場の管理運営を業務委託又は指定管理し、受託者等と連携して施設環境の整備に努めた。 また、町民スポーツセンター大規模改修、手ノ子スキー場ロッジ屋根塗装、シュレックプリフト修繕、自然観察学習園グランドゴルフ場整備を行い、施設環境の整備に努めた。		町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性向上と安全確保を図り、利用の拡大を図るために関係団体とも連携し、継続して各施設の設備整備に取り組む。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2) スポーツ活動の推進	<p>①生涯スポーツの推進に向け、町民一人1スポーツを目標とし、体育協会、いいでスポーツクラブキララ、スポーツ推進委員会などと連携を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各種事業を中止せざるを得ない状況となり、計画どおりに事業を実施することができなかった。</p>	<p>① 生涯スポーツの推進に向けた取組み（未達成）</p> <p>1) 関係団体との協働・連携促進 町体育協会（地区体協・スポーツ団体）及びいいでスポーツクラブキララの各種事業の支援を図った。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国白川ダム湖畔マラソン大会をはじめ各種大会や事業が中止となり、また町民プールについても休止となった。</p> <p>2) 町総合体育大会の開催 町体育協会及び各地区体育協会と連携し、大会の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症や中津川橋通行止により、9種目中6種目が中止となった。 そのため、地区対抗得点制を行わない体育大会とした。</p>	<p>町民スポーツセンター利用者数 【R3目標】9,000人 【R2実績】7,623人</p> <p>町民プール利用者数 【R3目標】1,500人 【R2実績】休止</p> <p>手ノ子スキー場利用者数 【R3目標】30,000人 【R2実績】29,554人</p> <p>いいでスポーツクラブキララ会員数 【R3目標】350人 【R2実績】333人</p>	<p>いいでスポーツクラブキララについて、町民の参加促進やクラブ事業の充実を図り、一般会員数の増加に努める。また、スポーツ推進委員・公民館との連携促進を図り、地域からの「町民一人1スポーツ」の在り方を検討する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中にあり、新しい生活様式における生涯スポーツの普及を進める。</p> <p>総合体育大会については、スポーツを通じた交流づくりとして今後も継続していくが、チーム編成が難しく、出場を断念する地区もあるため、得点制及び大会の実施方法について検討を行う。</p>
(3) 競技力の向上	<p>①各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から中学生までの競技力の向</p>	<p>① スポーツ研修会・講習会の開催（一部達成）</p> <p>1) 指導者の育成</p>	<p>児童の運動能力 （小学5年・全国平均を上回る種目数の</p>	<p>今後も小学生の運動能力向上を図るため、各種教室を継続して開催す</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>上を図った。</p> <p>②児童・生徒の運動能力の向上を目指した。</p>	<p>スポーツ少年団指導者の上部研修会参加に係る支援。</p> <p>2) スポーツ教室の開催 町小学校体育振興会と連携し、小学生の走力向上を図るため、町小学校陸上大会において陸上教室を開催。また、町陸上競技協会と連携し、青砥慎司氏による陸上教室を開催した。 新型コロナウイルス感染症により、町民プールが中止となったため、キララ・夏休み子ども短期水泳教室（小学1・2年生児童対象）は開催できなかった。 スキー指導者講習会・親子スキー教室を開催し、技術力の向上を図ることができた。</p> <p>3) 上位大会への参加費用補助 全国規模の大会参加者に対し、大会登録料・旅費など参加経費の補助による支援 (1件)</p> <p>② ジュニア対象競技大会の出場支援と強化（未達成） 新型コロナウイルス感染症により、各種大会が中止となり、例年</p>	<p>割合) (R2 年度は任意実施のため、数値指標の点検できず)</p> <p>生徒の運動能力 (中学2年・全国平均を上回る種目数の割合) (R2 年度は任意実施のため、数値指標の点検できず)</p>	<p>る。 また、上位大会への参加費用補助による、競技力の向上を応援する支援事業を継続する。</p> <p>ジュニア世代の競技力向上や運動能力向上を図るため、ジュニア向け大会の出場支援について、</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		出場している大会への参加及び大会に向けた陸上教室等の開催ができなかった。		今後も継続する。

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 子育て支援サービスなどの充実	①産休明け保育や一時保育、放課後児童クラブなど多様なサービスを展開し、子育てしやすい環境整備を図ってきた。	<p>① 産休明け保育の実施（達成） 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育（生後3ヶ月～6ヶ月）を実施している。</p> <p>◇延長保育の実施（達成） 全児童施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施している。</p> <p>◇一時保育の実施（達成） NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施している。</p> <p>◇放課後児童クラブの実施（達成） すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所の放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生まで拡大し実施している。</p>	<p>保育施設待機児童数</p> <p>【R3 目標】 0人</p> <p>【R2 実績】 0人</p>	<p>①子ども・子育て支援計画に基づき、子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子育て世代包括支援センターと連携した児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制整備、NPO法人との協働の取り組みの推進など総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。</p> <p>◇幼児施設教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。特に、未満児の保育については、家庭の役割、親の役割を十分に保護者に理解してもらうような働きかけをし、子どもと共に親も成長する過程を阻害しないようにしていく。</p> <p>◇将来の保育需要の動向や出生数の推移等を見定めながら、低年齢児の保育ニーズに適切に対応するため、子ども・子育て支援新制度や幼保一体化の議論なども</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼稚園・保育園等との交流・連携・情報交換を図ってきた。</p>	<p>◇ファミリー・サポート・センターの運営（達成）          育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営している。（令和2年度末会員数121人 利用件数101件）</p> <p>② 幼保小の連携（未達成）          令和2年度はコロナ禍のため、小学校との十分な交流を図れなかった。</p>		<p>踏まえ、就学前児童にとって望ましい保育環境について、幼児教育環境将来構想に基づき実現していく。</p> <p>◇小学校の児童に対して、授業の終了後等に余裕教室などを利用して適切な遊びの場及び生活の場を与えるとともに、その健全な育成を図るため放課後児童クラブを継続して開設し、放課後児童対策の充実に取り組んでいく。</p> <p>◇利用件数の増加や依頼内容の多様化に伴い、特に、子育てをサポートする協力会員の人員確保と講習会などで安全管理等の研修を積み重ねていくことが求められており、会員間の交流会の開催をとおして信頼関係を築きながら安心安全なサポート活動を提供するとともに、引き続き事業啓発に取り組んでいく。</p> <p>②幼保小連携スタートプログラムの意義を十分に理解し、コロナ禍においても幼保小の連携と情報交換を図</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>③園の畑での作物栽培や地場農産物を利用した手づくりおやつ提供などの食育の推進、高齢者との世代間交流事業の実施、伝統芸能（獅子舞や太鼓）など農村文化を体験する活動に取り組んできた。</p> <p>④こどもみらい館の活動を中心に子育て講座や、ブックスタート、あそびの広場等の各種広場を開設し、子育て世代の交流支援と、子育てサークルの活動支援を行ってきた。</p>	<p>③ 食育の推進など（達成） 地場農作物や、園の畑から収穫された旬の食材を給食やおやつに利用し、畑の先生の指導を受けての野菜栽培体験や生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発、祖父母参観の実施や、食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流が行われている。また、獅子舞など農村文化を体験する機会を創出している。</p> <p>④こどもみらい館の運営（ほぼ達成） 子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就学の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施している。子育てサークルとの連携による交流促進を図っているものの、組織拡大に向けたさらなる支援が必要である。</p>	<p>こどもみらい館利用者数 【R3 目標】 10,000 人 【R2 実績】 3,089 人</p>	<p>られるように創意工夫し一層進めていく。</p> <p>③引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育教育の推進と高齢者の方などとの交流による保育・幼児教育の推進に取り組み、ふるさとに対する愛情を醸成していく。</p> <p>④3歳未満の子どもの6割以上が入所しており、みらい館の利用客数は年々減少している。せめて、親子の心の絆が安定する1歳まで、できれば、3歳まで家族の愛を十分に受けながら、家庭保育をできる環境づくりを行っていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2)子育て家庭の負担軽減</p>	<p>⑤平成28年度より教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園「飯豊わくわくこども園」を整備した。</p> <p>①保育施設等の利用者負担の軽減を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減してきた。</p>	<p>⑤幼保連携型認定こども園（達成） 平成28年4月から、旧さゆり保育園を乳児部、旧中部幼稚園を幼児部とし、年齢別の教育・保育を行っている。</p> <p>①保育園保育料幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成） ◇令和元年10月より幼児教育・保育の無償化により、3歳～5歳及び3歳未満児の住民税非課税世帯の保育料が無償となり、保育園に入園または、認定こども園2号にあたる子どもの給食費については、以前は保育料に含まれていたが、現在は、保育料が無償になる代わりに、実費負担分として、給食費を徴収しているが、子育て世代の経済的負担は軽くなった。 未満児に関しては、引き続き、保育料の負担階層区分の変更など保育料算定基準の見直しを行うとともに、低所得者世帯及びひとり親世帯の負担軽減措置を平成28年4月から実施している。</p>		<p>⑤全ての子どもに質の高い幼児期の教育及び保育の総合的な提供を行うため幼児施設の2園化に向けて取り組んでいくと同時に、発達障害を持つ子どもたちの生育環境を考慮した施設の設置を検討していく。</p> <p>①未満児に関しては、引き続き、保育料等の軽減策を継続していくと共に令和3年9月分の保育料から所得階層3階層と4階層の方について国の基準額の1/2を補助する。 また、第3子以降の3歳～5歳児の子どもの給食費と延長保育・預かり保育のおやつ代の無料化を継続していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②幼稚園等入所児童への給食提供を実施し、育児や家事の負担軽減に取り組んできた。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスに町のスクールバスを利用し、利用者負担金の軽減を図ってきた。</p>	<p>また、平成28年4月から、入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無償化している。保育園への複数人の同時入所の場合、二人目の軽減額を拡充し、1/3の額としている。</p> <p>添川児童センターの延長保育やわくわくこども園1号の預かり保育についても、おやつ代のみの料金になった。</p> <p>②幼稚園等入所児童への給食提供（達成） わくわくこども園幼児部と添川児童センターに、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスの運行（達成） 園児の送迎バスとして、スクールバスを活用し運行するとともに、運転手の人件費、燃料費等を負担している。また平成26年度から添乗員の保険料、人件費の一部を助成している。</p>		<p>②今後も、栄養士が献立し、栄養バランスに配慮した、安全でおいしいおかず給食の配食を実施していく。また、幼児施設については、小学校等の長期休業期間中におけるおかず給食の配食についても学校給食終了後1週間程度実施している。</p> <p>③利用人数の増減により、利用者負担金の増減、添乗員手当の増減が生じないよう各園で一定程度の均衡が図られるように配慮したルールづくりを検討していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>④東日本大震災による被災児童を受入れし、保育料等の支援に取り組んできた。</p>	<p>④東日本大震災による被災児童の受入れ（達成） 乳児部 1 名、添川児童センター1 名を積極的に受入れし、保育料の免除等の支援を実施している。</p>		<p>④東日本大震災による被災者で該当する者は減少しているが、他の災害の被災者もいるため、今後も、被災児童を積極的に受入れし、被災者支援として継続して取り組んでいく。</p>

(重点項目) 多様な芸術文化活動の推進

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 音楽からのまちづくりの推進</p>	<p>新型コロナウイルスによって、ほぼすべての事業が中止または延期となった。</p>	<p>&lt;中止(延期)した事業&gt; (未達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月20日(土) フェット・ド・ラ・ミュージック ⇒ 中止</li> <li>・ 7月4日(土)～5日(日) 第15回めざみの里カンタート ⇒ 次年度へ延期</li> <li>・ 9月5日(土) めざみの里まつり2020 ⇒ 中止</li> <li>・ 11月8日(日) ボイスパーティーINいいで ⇒ 次年度へ延期</li> <li>・ 11月14日(土) 第25回 めざみの音楽祭 ⇒ 中止</li> </ul>		<p>デルタ株等、新たなコロナウイルスによって、音楽活動は低迷しており、イベント・コンサート等の開催が容易でない状況である。</p> <p>今後はワクチン接種や感染状況を鑑み、対応していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2) 芸術文化活動の推進	各種芸術文化団体の活動について、新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動自粛を実施しており、思うような取り組みができない状況あった。	(未達成) 10月18日(日) 第47回芸能発表会 ⇒ 中止	◆町芸術文化協会会員数 【R3 目標】 230人 【R2 実績】 232人	芸術文化協会会員が減少している中、コロナによって活動できない状況である。 活動することによって感染リスクが高まることから状況を見ながら判断していきたい。
(3) 優れた文化・芸術に親しむ環境づくり	町民総合センターを活用し、優れた芸術文化を鑑賞する機会について、新型コロナウイルスによって実施不可となった。  コロナ禍における読書普及活動、図書利用が促進されるような取り組みを行った。	(未達成) 6月17日(水) 子ども芸術鑑賞教室 ⇒ 公演内容そのまま次年度へ延期  10月下旬 ボイストレーニング⇒中止  各学校へ巡回図書、読み聞かせ活動や「あ～すまいる～ず」と連携した事業。 新年1月には「本の福袋」を開催、2月には「本を借りてシールをあつめよう！」を企画し、図書室の利用促進を図った。	◆センター利用者数 【R3 目標】 11,000人 【R2 実績】 10,537人  ◆図書貸出冊数 【R3 目標】 14,000冊 【R2 実績】 13,282冊	今後はワクチン接種や感染状況を鑑み、対応していく。  無理のない範囲で、多くの方々が、本に触れ合う機会の創出など読書普及活動の推進を図る。